

家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点

福島県教育委員会教育長からのメッセージ

お手伝い。体験、実感、感謝の心。

子どもに家事を手伝わせることは、勤労性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いさせましょう。

視点 1

心の支え

- コミュニケーションを大切にし、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になりましょう。
- 自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、**安心感**を与えてあげましょう。

福島県PTA連合会長からのメッセージ

今こそ必要、大人の背中

昔から子どもは親の背中を見て育つと言われています。大人の背中には、子どもたちに明るい未来を示す実働能力があるのだと思います。子どもたちが健りをもち、夢をもち、将来に希望と自信をもって教育機関をつくりながら、今後子どもたちのためにどうあるべきかを、大人の背中と考えてまいります。

視点 2

環境づくり

- 学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。
- 家族と一緒に読書をする機会を設けましょう。
- 図書館・公民館などの利用や体験活動を促しましょう。
- 地域行事に積極的に参加させましょう。

視点 3

習慣づくり

- 早寝・早起きやお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。
- 朝ごはんは、必ず「毎日」、できるだけ「みんな」で食べましょう。
- テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決めましょう。



家庭・学校・地域の協力で

金山の子どもたちの

未来を輝かせるために!